



足の外科・外反母趾

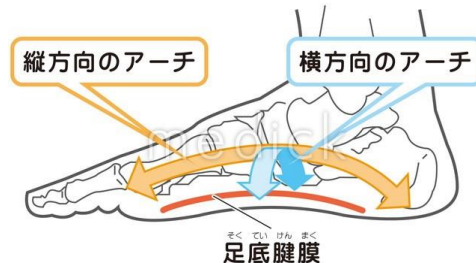
専門外来のご案内

足の外科とは、足首から下の部分の疾患を扱います。

主な疾患としては・外反母趾などの足趾の変形、



- ・変形性足関節症、
- ・繰り返される足関節の捻挫、
- ・扁平足に伴う障害、などです。



それぞれの病状を判断し、靴や装具を用いての**保存的治療**や**手術治療**を行います。当院には義肢装具士がおり、院内で装具の作成・調整が行えます。人間が二足歩行する点では、足はとても重要な器官です。

足のトラブルでお困りの方、**専門医による診察を受けてみませんか。**

受診にあたって

まず足の痛みや違和感の原因を調べます。

靴などの物理的刺激で生じる足固有の疾患の他、全身疾患（糖尿病やリウマチなど）の一部として生じる場合もありますので、これらを含めて診断します。

また、「足の状態」は、普段履いている「靴の形状」と深い関連性を持っている場合が少なくありません。そのため、普段履いている靴を持参して頂けると、より適切な診断が出来る場合があります。

担当医師は、東京大学附属病院「足の外科グループ」のチーフである

松本卓巳医師です

毎週金曜日 完全予約制 です

お問い合わせは「患者・家族相談室」

お電話でも直接来室でも結構です

平日 月～金 9:00～16:00

☎ 0465-63-2211

